いせ

第85号
令和8年12月1日号

発行／伊勢市議会
編集／議会のあり方調査特別委員会
広報広聴検討分科会

市議会だより

題字　修道小学校５年　福井　華乃　さん



主な記事

９月定例会の概要……２ページ
決算分科会審査の概要……４～５ページ
審議した主な議案の内容……６ページ
議決結果……７ページ
市政を問う（議案質疑・一般質問）…８～14ページ

「ちょっとひとやすみ」

伊勢市神久の竹谷真歩（たけやまほ）さんにご投稿いただきました。

撮影日　令和８年８月１日
～竹谷真歩さんのコメント～
散歩の休憩にひとやすみできます。
目の前の勢田川を見ているとホッとしました。

令和8年 9月定例会

令和7年度 決算審査

◎一般会計を賛成多数で認定
◎特別会計・企業会計を全会一致で認定
◎災害復旧に関する補正予算などを可決



概要

令和8年9月市議会定例会を、9月14日から10月15日までの32日間の会期で開催しました。

今定例会では、令和7年度決算認定をはじめとする46議案が提出され、本会議、決算特別委員会、各常任委員会において慎重に審議した結果、各決算議案を原案どおり可決・認定、他の議案をいずれも原案どおり可決・同意しました。

そのほか、請願3件のうち1件を採択、2件を継続審査とし、発議4件のうち2件を原案どおり可決し、2件を否決しました。

なお、10月15日の本会議において、「三重県営五十鈴公園への立体駐車場建設に関する請願」および「中学校給食無償化を求める請願」について、継続審査とすることへの反対討論がありました。

また、「カルテ等医療記録の保存期間見直しと保存体制の整備を求める意見書の提出」については反対討論が、「非核三原則の堅持を求める意見書の提出」については反対・賛成の両討論がありました。

9月24日と25日の本会議では、12人の議員が議案質疑・一般質問を行いました。

※議決結果は7ページ、質疑・質問の概要は8～14ページをご覧ください。



決算の概要説明をする会計管理者（9月14日）



決算の監査結果を報告する代表監査委員（9月14日）

決算特別委員会を設置

令和7年度決算について詳細に審査をするため、決算特別委員会を設置しました。特別委員会に、総務政策分科会・教育民生分科会・産業建設分科会を設け、一般会計・各特別会計・各企業会計の令和7年度決算について、それぞれの分科会で審査しました。

※審査の概要は、4～5ページをご覧ください。

9月定例会日程

9月
- 14日 本会議（議案の提案説明など）
- 全員協議会
- 教育民生委員会
- 24日 議会運営委員会
- 本会議（委員会審査付託、一般質問）
- 産業建設委員会
- 決算特別委員会（全体会）
- 25日 本会議（一般質問）
- 29日 産業建設分科会
- 30日 産業建設分科会

10月
- 1日 教育民生分科会
- 2日 教育民生分科会
- 5日 総務政策分科会
- 7日 産業建設委員会
- 8日 教育民生委員会
- 9日 総務政策委員会
- 13日 決算特別委員会（全体会）
- 15日 議会運営委員会
- 本会議（議案採決など）
- 産業建設委員会
- 総務政策委員会

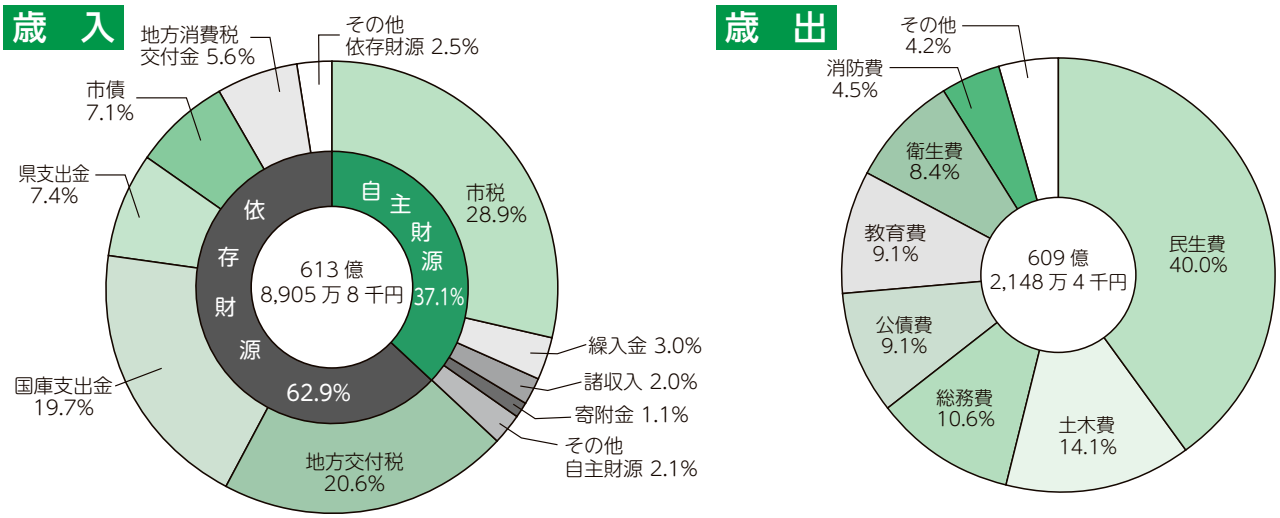
◆ 令和７年度一般会計・特別会計・企業会計決算（概要）◆

会計名		歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引差額
一般会計		613億8,905万8千円	609億2,148万4千円	4億6,757万4千円 （基金積立額および翌年度へ繰越すべき財源を含む）
特別会計	国民健康保険	120億2,152万8千円	119億9,268万1千円	2,884万7千円 （基金積立額を含む）
	後期高齢者医療	41億3,053万1千円	40億5,055万円	7,998万1千円
	介護保険	161億3,335万円	156億2,445万5千円	5億889万4千円
	観光交通対策	6億1,367万1千円	5億7,734万9千円	3,632万3千円
	土地取得	1億6,599万7千円	1億6,530万4千円	69万2千円

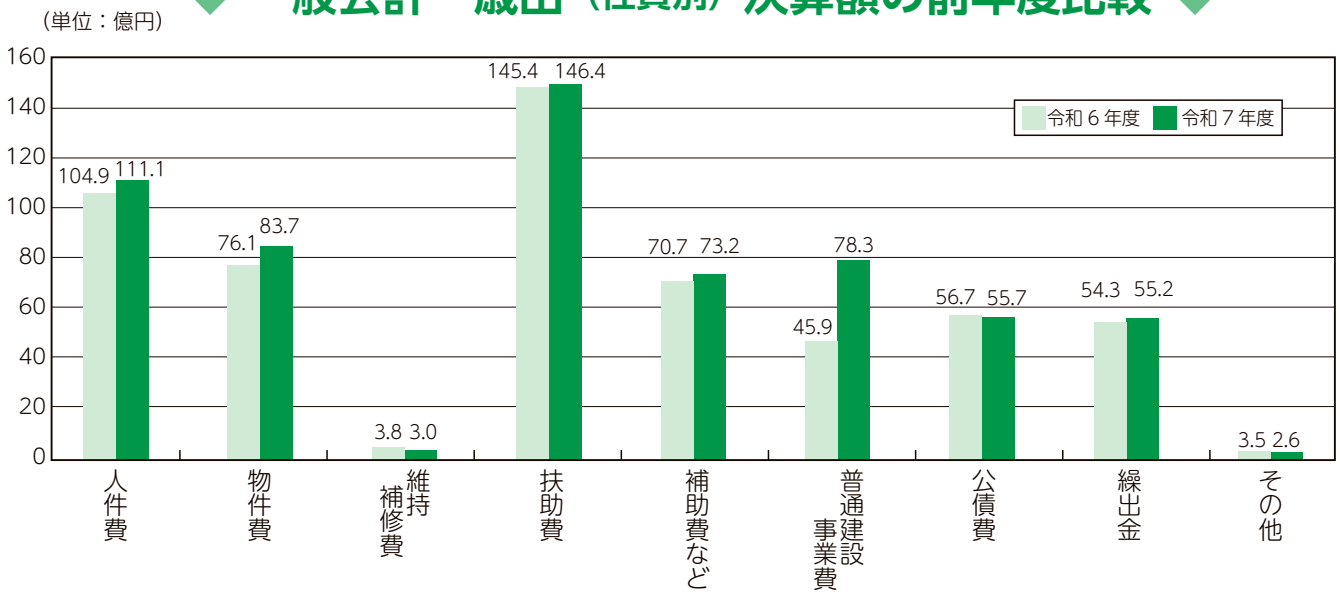
会計名		収益的収入(税抜き)	収益的支出(税抜き)	差引損益
企業会計	病院事業	83億4,410万5千円	89億2,971万9千円	▲5億8,561万4千円
	水道事業	25億3,490万5千円	23億7,054万9千円	1億6,435万7千円
	下水道事業	39億6,252万7千円	38億1,945万9千円	1億4,306万8千円

※各金額は千円未満を四捨五入しているため、差引額が一致しない場合があります。

◆ 令和７年度一般会計決算の内訳（目的別）◆



◆ 一般会計　歳出（性質別）決算額の前年度比較 ◆



決算特別委員会の各分科会審査において、意見のあった主な項目を掲載しています。

産業建設分科会（9月29日・30日）

〇一般会計

（歳入）　下水道の無断接続への対応

（歳出）

総務費　放置自転車対策、自転車の交通ルール啓発、コミュニティバスの便数の検討など

労働費　奨学金返還支援、若年求職者等支援、いせ若者就業サポートステーションへの登録が多い要因への指摘など

農林水産業費　農業振興地域整備計画、農地の集約化およびスマート農業、農業用ため池の整備、獣害対策、森林経営管理など

商工費　AIカメラによる通行量調査、地域おこし協力隊など

観光費　市内周遊サイクルルート調査、さらなる観光資源の掘り起こし、外国人観光客誘致推進、海水浴場の開設期間など

土木費　地籍調査、狭あい道路の整備、通学路交通安全プログラム、中心市街地の活性化、神田一之木線の整備、河川改良および排水路整備、防波堤の整備、宇治山田港湾の観光資源活用、プレジャーボート対策、道路の無電柱化推進、住宅･建築物耐震改修、市営住宅の未収金対策、空き家等対策など

〇特別会計

観光交通対策特別会計　駐車場再編事業アドバイザリー業務委託

土地取得特別会計　計画している用地買収の推進

〇企業会計

水道事業会計　水道管の耐震化、将来的な水道料金値上げについての市民説明など

下水道事業会計　水洗化率向上への取組、雨水対策推進、下水道整備エリア再編に伴う合併浄化槽転換推進など

産業建設分科会（9月29日）

（9月30日）



産業建設分科会の審査結果を報告する岡田会長（10月13日）

教育民生分科会（10月1日・2日）

〇一般会計

（歳出）

民生費　任意後見制度の活用、民生委員協力員制度への支援、障がい者の災害時避難支援、ワークステーションいせの取組、重層的支援体制の整備、こども誰でも通園制度への継続的支援、保育士の確保、児童虐待防止など

衛生費　脱炭素社会の実現、骨髄バンクドナー登録者拡大、子育ての伴走型支援、ごみの分別、リサイクル行動の促進など

教育費　子ども読書支援の拡大、学力向上推進、学校水泳の民間プール施設活用、非核平和推進、不登校対策、ICT機器の活用、生涯スポーツの推進など

〇特別会計

国民健康保険特別会計　特定保健指導の受診環境整備

後期高齢者医療特別会計

介護保険特別会計　認知症高齢者等家族の孤立防止

〇企業会計

病院事業会計　社会経済情勢などの現状に即した病院経営、看護師の確保

教育民生分科会（10月1日）

（10月2日）



教育民生分科会の審査結果を報告する吉岡会長（10月13日）

総務政策分科会（10 月５日）

総務政策分科会(10月５日)

○一般会計

（歳入）

市税収納における他部署との連携

（歳出）

総務費　ふるさと応援寄附金収益の増加、支払い遅延の撲滅、市役所内の情報管理、職員の人事評価、県外派遣職員の活用、市民からの相談窓口、デジタル活用、男女共同参画、いせ市民活動センターの運営、自治会加入促進、防犯対策、特殊詐欺対策など

消防費　災害用備蓄物資の整備など

教育費　伊勢市歴史博物館など



総務政策分科会の審査結果を報告する品川会長（10 月 13 日）

決算特別委員会（10 月 13 日）・本会議（10 月 15 日）

10 月 13 日の決算特別委員会全体会で、各分科会の会長から分科会審査の結果報告と採決が行われました。これを受け、10 月 15 日の本会議で、吉井決算特別委員会委員長が決算全体の審査結果を報告し、採決の結果、全て可決・認定されました。

決算特別委員会(10月13日)

本会議(10月15日)



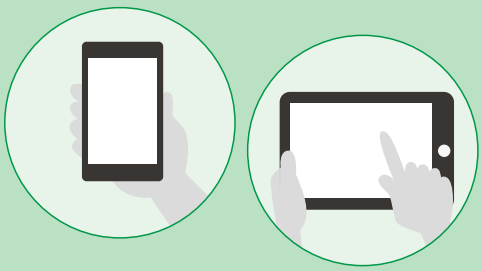
決算特別委員会の審査結果を報告する吉井委員長（10 月 15 日）

伊勢市議会動画配信

市議会では、YouTube（ユーチューブ）のサイトを利用した会議の録画配信を行っています。

いせ市議会だよりの紙面に掲載している二次元コードを、スマートフォンやタブレットで読み取ると、動画が視聴できます。

※視聴の際のデータ通信料は、ご自身の負担となります。



◆◆◆ 審議した主な議案の内容 ◆◆◆

補正予算

▷伊勢市一般会計補正予算（第４号）
２億1,571万円

総務費

・戸籍住民基本台帳事務一般経費　787万５千円
　マイナンバーカードの交付および更新業務に係る人員配置に必要な経費を増額する。

民生費

・事務費繰出金　1,156万３千円
　介護情報基盤（自治体・利用者・介護事業所・医療機関などが介護情報などを電子的に閲覧できる仕組み）への対応に係るシステム改修経費について、介護保険特別会計へ繰出しを行う。

衛生費

・市営墓地管理一般経費　１億8,679万２千円
　公益財団法人伊勢市霊園公社から引き継いだ財産のうち、永代管理特定資産および墓地管理料の前受金をやすらぎ公園墓地基金へ積み立てる。

▷介護保険特別会計補正予算（第２号）
2,312万４千円

介護情報基盤への対応に係るシステム改修経費。

▷下水道事業会計補正予算（第１号）
〔収益的支出〕2,600万９千円
〔資本的支出〕　405万６千円

五十鈴川中村浄化センターから宮川浄化センターへの汚水処理の切替えを前倒しすることに伴い、必要経費を増額する。

▷伊勢市一般会計補正予算（第５号）
3,660万円

消防費

・明倫商店街火災対応経費　800万円
　市道の通行者の安全を確保するため、仮囲いなどを行う。

災害復旧費

・社会教育施設災害復旧事業　2,860万円
　シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢（伊勢市観光文化会館）の楽屋およびリハーサル室の復旧を行う。



条　例

▷伊勢市福祉医療費の助成に関する条例の一部改正

寡婦に係る福祉医療費の助成を廃止するにつき、令和９年３月31日をもって資格認定申請の新規受付を終了する。

なお、３月31日までに資格認定を受けた人は、４月１日以降も年齢到達や転出などの理由で資格を喪失するまでの間、継続して助成を受けることができる。

また、３月31日までに対象者の要件を満たしており、同日までに申請できなかった人については、４月１日以降も資格認定申請をすることができる。（施行期日：令和９年４月１日）

その他

▷自動運転車両（小型バス）の取得

バスの運転士不足が深刻化する中、観光客のスムーズな輸送と市民の暮らしに欠かせない生活路線の双方を確保するため、自動運転でのバスの運行に向け、検証やデータ蓄積などを行うために必要な車両を買い入れる。

取得する車両：Minibus（ミニバス）2.0　１台
買入価格：9,900万円

▷市道高向小俣線（宮川橋）橋梁架替事業【令和７年度～令和８年度橋梁架替（下部工）工事（A1橋台）】の受託事業契約の変更

工事の入札の結果、設計額と契約額に差金が生じたため、事業費の減額変更を行う。

変更前：３億1,500万円
変更後：２億7,729万４千円
変更による減額：3,770万６千円
契約の相手方：三重県

◆◆◆ 議決結果 ◆◆◆



全会一致の案件

議案番号	案件名
78	令和７年度伊勢市病院事業の資本剰余金の処分及び令和７年度伊勢市病院事業会計決算認定
79	令和７年度伊勢市水道事業の利益の処分及び令和７年度伊勢市水道事業会計決算認定
80	令和７年度伊勢市下水道事業の利益の処分及び令和７年度伊勢市下水道事業会計決算認定
81	令和８年度伊勢市一般会計補正予算（第４号）
82	令和８年度伊勢市介護保険特別会計補正予算（第２号）
83	令和８年度伊勢市下水道事業会計補正予算（第１号）
84	伊勢市附属機関条例の一部改正
85	伊勢市立公民館条例の一部改正
86	伊勢市学習等供用施設条例の一部改正
87	伊勢市福祉医療費の助成に関する条例の一部改正
88	伊勢市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部改正
89	伊勢市認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正
90	伊勢市景観条例の一部改正
91	伊勢市火災予防条例の一部改正
93	市道高向小俣線（宮川橋）橋梁架替事業【令和７年度～令和８年度橋梁架替（下部工）工事（A1 橋台）】の受託事業契約の変更
94	和解及び損害賠償の額を定めること
95	市道の路線の廃止
96	市道の路線の認定
97～115	伊勢市農業委員会委員の任命につき同意を求めること
116～117	人権擁護委員の推薦につき意見を聞くこと
118	令和８年度伊勢市一般会計補正予算（第５号）
発議第５号	常任委員会の閉会中の継続審査・調査

賛否の分かれた案件

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
議員名 / 議案番号	大野寛文	小阪史章	神谷明子	森下知世	中村栄治	山木英樹	青沼陽一郎	杉村剛	宮本晃	谷口久美	池田覚	大西要一	宮崎誠	久保真	中村功	上村和生	北村勝	楠木宏彦	吉井詩子	岡田善行	辻孝記	吉岡勝裕	品川幸久	宿典泰
77	令和７年度決算認定																	賛成多数			認定			
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	×	○	○	○	○	○	○
92	自動運転車両（小型バス）の取得																	賛成多数			原案可決			
	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	×	○	○	○	○	○	○
※令和８年請願第１号	三重県営五十鈴公園への立体駐車場建設に関する請願																	賛成多数			継続審査			
	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	／	×	○	○	○	○	○	○
令和８年請願第２号	子どもたちの「豊かな学び」の保障を求める請願																	賛成多数			採択			
	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	×	×
※令和８年請願第３号	中学校給食無償化を求める請願																	賛成多数			継続審査			
	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	／	×	○	×	○	○	○	○
発議第３号	カルテ等医療記録の保存期間見直しと保存体制の整備を求める意見書の提出																	賛成少数			否決			
	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	○	○	○	／	×	×	○	×	○	×	×
発議第４号	非核三原則の堅持を求める意見書の提出																	賛成少数			否決			
	○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	／	○	○	×	○	×	×	×
発議第６号	子どもたちの「豊かな学び」の保障を求める意見書の提出																	賛成多数			原案可決			
	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	×	×

※請願第１号と第３号は、請願内容の賛否ではなく、継続審査とすることに対する賛否を諮りました。
※○は賛成、×は反対。北村議長は通常採決に加わりません。

市政を問う

各議員の掲載記事欄にある二次元コードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、その議員の動画が視聴できます。

12人の議員が質問

9月24日	神谷　明子	8ページ
	池田　覚	9ページ
	宮本　晃	9ページ
	中村　功	10ページ
	山木　英樹	10ページ
	杉村　剛	11ページ
	大野　寛文	11ページ
9月25日	谷口　久美	12ページ
	岡田　善行	12ページ
	青沼陽一郎	13ページ
	森下　知世	13ページ
	楠木　宏彦	14ページ

議案質疑…予算、条例などの議会に提出された議案の内容について質問をすること

一般質問…市の事業、諸課題、将来の方針など、市政全般について質問をすること



神谷（かみや） 明子（あきこ）（参政党）

7月に発火が報じられた電気バスと今回取得予定の車両との違いは

動画はこちらから

答　大きな違いはないが、原因に関しては現在調査中と伺っている

議案質疑

議案第92号　自動運転車両（小型バス）の取得

問　今回取得予定のティアフォー社製のミニバス2.0を選定した理由は。

答　将来的に外宮内宮間の輸送を想定していることから、現在国内で販売されている中で最も輸送力と速達性に優れているという理由で選定した。また、桑名市と同型の車両を購入することにより、複数の車両を遠隔地よりまとめて運行管理するといった取組にも対応可能となる。

問　先日、他市町において自動運転バスがフェンスに衝突するといった事故が報じられており、その路線は運休となっていると耳にしている。国内で自動運転バスによる事故などのトラブルはどの程度報告されているのか。

答　国土交通省の取りまとめによると、令和4年から令和6年の間に22件の事故が報告されている。

問　乗務員にはどのような業務が課されているのか。

答　今年度実施する実証実験での主な業務は、緊急時の手動介入や、事故発生時の避難誘導を行うこととしている。

問　令和9年度までに※レベル4を取得するという国からの条件達成見通しと、補助金終了後の想定収支は。

答　これまでの全国での実績と本市での実証実験結果を踏まえ、達成は可能と考えている。また、単年度では3年後の黒字化を想定している。



取得する小型バス

※**レベル4**…完全に無人で特定条件下における自動運転を行うために必要な国の認定。

一般質問



池田　覚（いけだ　さとる）（未来創成）

中学校部活動の地域展開に向けた市の専門的な推進体制は

動画はこちらから

答　他市の取組や国・県の動向も踏まえ、体制の整備について検討する

問　部活動地域展開の人材確保について、退職教員や地域の指導経験者への働きかけなど、どのように取り組むのか。

答　人材バンクの活用に加え、退職教員や地域での指導経験を持つ方々への働きかけを含め、幅広い人材確保に努める。

問　地域展開が進む中で、学校や地域が大切にしてきた伝統や考え方に市はどう向き合っていくのか。

答　全てを一律に引き継ぐのではなく、関係者の声に耳を傾けながら、新たな地域クラブ活動の中で生かせるものを考えて丁寧に進めていく。

問　会計や保険などの共通事務の一元支援や、専門的な推進体制をどう整えるのか。

答　共通事務を一元支援する仕組みや、関係者との調整を担う専門的な推進体制の整備に向けて検討していく。

○※アーバンスポーツの推進について

問　アーバンスポーツの継続的な普及について、令和８年５月の体験会をどう評価し、今後の継続的な普及にどうつなげるのか。

答　11月の「いせスポーツフェスティバル」でのスケートボード体験会実施など、市民のニーズを把握し、民間企業や関係団体と連携しながら取り組む。



（生成AIで作成）

一般質問



宮本　晃（みやもと　あきら）（勢風会）

観光都市伊勢の新たな農業振興戦略と地域産業発展への挑戦を問う

動画はこちらから

答　観光都市伊勢の魅力をさらに高め持続可能な農業の実現に取り組む

問　今年から来年にかけ、お木曳行事が行われ、2033年の式年遷宮へ伊勢のまちが大きく動き観光客が増え、観光消費の増加が予測される。令和７年の観光消費額は663億円であった。ご遷宮を伊勢の地域産業を次世代へつなぐ目標の年に捉え、観光で生まれる経済効果や利益を農業などの地域産業へつなげる「地域内経済循環」の仕組みを政策に取り組むべきではないか。

答　観光による経済効果を市内産業へ循環させる「地域内経済循環」の考え方は、今後当市の観光や農業政策に必要な取組と認識している。

問　若い世代の農業者や、これから新たな就農者が「農業を職業として選びたい」と思える伊勢の農業の将来像を、どう描いているのか。

答　持続可能な農業を次世代へ引き継ぎ、魅力あふれる農業・農村の環境づくりを目指す。

問　農家の所得向上策として、今後も食需要の増加が予測される市内の宿泊施設や飲食店などへ市内産の農産物の利用拡大を目的に、市として新たな仕組みや体制を構築すべきではないか。

答　これまで取り組んできた魅力ある農業の推進のための体制に加え、他の自治体の例も参考にしながら検討していきたい。

問　現在の農業振興政策をさらに、2033年に向けた新たな「伊勢の農業振興戦略」の構築に各部局が横断的に連携し、挑戦すべきではないか。

答　庁内外の方々と共に連携していきたい。



美味い伊勢の米



甘い蓮台寺柿



横輪芋のケーキ

※**アーバンスポーツ**…スケートボードやBMX（自転車競技）など、街中の遊びの中から生まれた都市型スポーツ。

一般質問



中村　功（なかむら　いさお）（ネクスト）

空き家問題への対策として、空き家税に対する考えを問う

動画はこちらから

答　他市の動向を注視し、導入の適否について、調査研究していく

問　伊勢市の空き家の現状はどうか。

答　令和８年８月末現在で約 2,400 件を把握している。

問　空き家対策の取組による成果はどうか。

答　平成 29 年度から本格的に取組を開始し、これまでに累計で約 2,400 件の空き家を解消、改善した。

問　解決が難しい空き家の課題は何か。

答　管理意識の低さや相続放棄などが課題である。

問　事前対策はどのように取り組んでいくのか。

答　「住まいのエンディングノート」や「思いライフデザインノート」などを活用していく。

問　空き家予備軍を把握していく考えはないか。



（生成 AI で作成）

答　SNS などを活用したアンケート調査を検討していきたい。

〇不登校対策について

問　伊勢市の不登校の現状はどうか。

答　令和７年度は 1,000 人当たり小学校 16.2 人、中学校 50.9 人で、増加傾向である。

問　学校内の居場所づくりの状況はどうか。

答　小学校７校、中学校全校に「ねすとルーム」を整備し、安心できる環境づくりに取り組んでいる。

問　不登校に対する理解のための取組はどうか。

答　保護者向けに不登校の理解と対応のための資料集「ハーモニーハート」を配付している。

問　タブレット端末の活用状況はどうか。

答　相談アプリは活用しているが、心の状態把握までは至っていない。

問　「心の健康観察」の導入の考えはないか。

答　他市の導入状況などを研究し、検討したい。

一般質問



山木 英樹（やまき　ひでき）（未来創成）

保護者の就労継続のための放課後児童対策について伺いたい

動画はこちらから

答　児童クラブの受入枠不足は、地域の人材確保の課題と認識している

問　放課後児童クラブの不足は、保護者の就労継続や地域の人材確保にも影響する。申込みを諦めた家庭を含む潜在的な需要の把握と、受入枠拡大への考えは。

答　需要把握については調査を進めていきたい。受入枠の拡大には設置場所と人員の確保が課題であり、学校や公共・民間施設などの活用を検討し、定員拡大に努める。また、小１の壁を重要な課題と捉え、クラブの利用決定時には１年生の受入れに配慮するようお願いをしている。

〇外宮参道のトイレ環境の整備について

問　誰もが利用しやすいトイレ環境を整えるため、設備情報の統一や、トイレを開放する民間施設への費用面の支援を検討する考えは。

答　関係団体と統一した情報提供を検討する。新たな公衆トイレの整備計画はないが、今後の整備では国のガイドラインを踏まえる。また、民間との連携による受入環境の整備や他地域の事例を研究していきたい。

〇伊勢市駅前地区周辺の路上喫煙対策について

問　伊勢市駅前の再開発で、多様な市民が訪れるようになった。受動喫煙やたばこの火による事故を防ぐため、A・B・C 地区周辺の路上喫煙禁止区域を拡大する考えは。

答　パトロール範囲を広げ、喫煙実態を把握する。市民や観光客へアンケートを行い、区域拡大の必要性を研究していきたい。



（生成 AI で作成）

一般質問



杉村　剛（すぎむら　たけし）（未来創成）

企業誘致の今後の方向性を問う

動画はこちらから

答　宿泊施設の誘致などにも取り組み
雇用や地域経済の発展を図る

問　人口減少や若者流出を防ぐため、企業誘致の具体的な実績や今後の方向性はどうか。

答　平成 28 年度の奨励金制度改正以降、新設 4 社、設備投資 12 社、市内移転 4 社となり、市内在住の新規雇用者は 127 人である。今後は、製造業向けの用地確保について三重県と協議を進めるとともに、宿泊施設の誘致などにも取り組み、雇用や地域経済の発展を図っていく。

〇廃校となった校舎の活用について

問　廃校舎の活用方法は考えているのか。

答　旧神社小学校では、事業者が地域振興に向けた事業を実施しているほか、校舎の一部をまちづくり協議会の事務所などに活用しているところもある。今後も地域の活性化につながるよう、利活用に向けた取組を進めていく。

問　グラウンドや校舎・体育館を、地域のイベント（雨天などの対策を含む）に利用できないか。

答　グラウンドはまちづくり協議会などのイベントで活用できる。一方、校舎・体育館で不特定多数が集まるイベントを行うには建築基準法上の用途変更と改修が必要となる。県や国に相談しているが、現状では法律で認められる範囲での利用をお願いしている。

問　教室などを地域住民が気軽に集まれる場として提供することは可能か。

答　法律の許す範囲において、自治会などが教室を利用している例はある。利用内容に応じて個別相談に応じたい。



一般質問



大野　寛文（おお の　ひろふみ）（市民の声）

大規模災害から観光客と市民をどう守るのか

動画はこちらから

答　避難・備蓄・行政機能の体制を強化していく

問　大規模災害が発生した場合、観光客や帰宅困難者はどこへ避難するのか。

答　市の避難所に加え、伊勢市駅周辺では災害協定を締結している宿泊施設を活用する。

問　停電や通信障害により、ホームページなどが利用できない場合、観光客をどのように避難場所まで誘導するのか。

答　地域住民や事業者の協力が必要であると考えており、内宮周辺や二見地区では、住民や事業者と連携し、避難誘導訓練を実施している。

問　備蓄物資は十分に確保できているのか。

答　伊勢市備蓄計画により、避難者と帰宅困難者を合わせた約 8 万人の 2 日分の物資を備蓄することとしている。令和 7 年度末の充足率は 96% であり、令和 9 年度に充足率 100% を目指し、物資のニーズなどの動向を確認しながら計画的に備蓄を進めていく。

問　市役所が被災した場合、行政機能をどう維持するのか。

答　本庁舎の代替施設は小俣総合支所とし、災害対策本部は伊勢市防災センターに設置する。非常用電源については、外部からの供給なしで 72 時間以上稼働ができる燃料を備蓄しているほか、燃料の供給元である石油商業組合などと協定を締結し、長期対応に備えている。



災害対策本部が設置される伊勢市防災センター

一般質問



谷口 久美（たにぐち くみ）（未来創成）

誰一人取り残さない避難所の開設と要配慮者に寄り添う環境整備は

動画はこちらから

答 地域の実情に応じた解錠方法を研究し、備蓄計画の改定に着手する

問 避難所の鍵を管理する職員が参集できない場合に備え、地域での鍵の保管や※感震ボックスの設置など、避難所ごとの解錠体制を早期に具体化すべきではないか。

答 地域の方々や施設管理者と意見交換しながら進めたい。合い鍵の作成や遠隔操作できる製品の導入など、さまざまな方法を研究する。

問 高齢化の進行を見据え、備蓄品目や数量の見直しを計画的に進めるべきだが、今後の予定を伺いたい。

答 現在の伊勢市備蓄計画は令和９年度が終期のため、来年度から改定に着手したい。

問 使用済み紙おむつの臭気対策として、消臭機能付きのビニール袋を紙おむつとセットで備蓄してはどうか。

答 有効な選択肢の１つであり、今後の参考とする。各家庭での備蓄も啓発していく。

問 妊産婦や乳幼児のいる家庭ならではの防災知識の情報提供を、充実させてはどうか。

答 出産前後など時期特有の防災知識の提供に努めたい。防災ハンドブックは子育て応援サイトでも閲覧できるよう進めている。

問 パーティションなどが備蓄されていない避難所では、配慮スペースをどう確保するのか。

答 物資は拠点倉庫から配送する。パーティションは各避難所に設置できるよう準備中である。



（生成 AI で作成）

一般質問



岡田 善行（おかだ よしゆき）（ネクスト）

少子化に伴うスポーツ少年団の将来の在り方について問う

動画はこちらから

答 少人数の団体が地域実情に応じて活動できるよう検討したい

問 団員数が 10 名以下のスポーツ少年団が当市にもあるが、どの程度の団体があるのか。

答 35 団体のうち５団体である。

問 スポーツ少年団の登録基準について、今後の少子化を見据え、どのような考えがあるのか。

答 日本スポーツ少年団で登録要件などの見直しが検討されている。動向を注視したい。

問 登録要件の見直しが検討されているが、具体的な内容は。

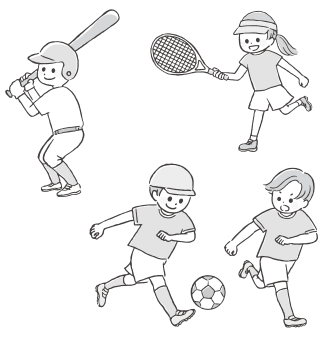
答 令和９年度からの個人登録の導入や登録システムの改修に合わせ、登録要件の見直しを含む規程の改正が検討されている。単位スポーツ少年団の登録要件が現在の「団員 10 名以上、指導者２名以上」から、「団員複数名、指導者２名以上」とする案が示されている。

問 複数の競技を１つの団体とするなど、地域の実情に応じて柔軟な仕組みを検討する必要があるのではないか。

答 少人数となった団体が地域の実情に応じて活動していけるよう、今後のスポーツ少年団の活動の在り方を検討したい。

問 問題が生じる前から活動継続について考えることが大切ではないか。また、身近な地域でスポーツに親しめる環境を維持していくことをどう考えているのか。

答 将来にわたって身近な地域でスポーツに親しめるよう活動を支えたい。



その他の質問事項
ふるさと納税について

※**感震ボックス**…地震の揺れを感知すると自動で解錠し、中の鍵を取り出せるようになる箱。

一般質問



青沼陽一郎（あおぬまよういちろう）（未来伊勢研究会）

巨大地震で市の水道の水源である井戸は枯渇しないのか

答　上水道の水源用井戸の枯渇の可能性は否定できない

動画はこちらから

問　令和８年７月に発生した熊本地震の現場を見てきた。市の真夏の震災対策を聞きたい。

答　避難所となる全小中学校の体育館の空調設置工事を令和８年度中に完了する。

問　熊本地震では「イオンモール熊本」が爆発した。南海トラフ地震で市が避難協定を結ぶ市内のイオン施設は安全なのか。

答　イオンなどの民間施設は津波発生時の一時的な垂直避難先として位置づけており、施設側の安全点検や津波発生時の屋上開放を再確認している。

問　地震による大規模断水や上水道井戸の枯渇リスクへはどう対応しているのか。

答　口径 300mm 以上の基幹水道管の耐震化率を 44.5% まで確保した。震災時に水源が枯渇した場合は他の水源井戸や県受水管、可搬式浄水装置などで応急給水を補完する。

問　液状化によってマンホールが浮上して支援ルートを塞いだ。対策はあるのか。

答　下水道マンホールにはおもり設置や地下水を抜く工法で浮上防止を進めている。

問　道路途絶時の復旧・支援ルートを確保する「くしの歯作戦」とは何か。

答　伊勢自動車道を「くしの軸」とし、インターチェンジから防災拠点施設への主要道路を「歯」として、最優先で発災３日以内に整備、緊急物資輸送網を確保する。



熊本地震の災害現場にて

一般質問



森下 知世（もりした ちよ）（みらいをつくる会）

五十鈴公園立体駐車場を「誰のため、何のため」に整備するのか

答　公園利用者の定義については今後協議する

動画はこちらから

問　五十鈴公園の立体駐車場は、公園を利用せず参拝や観光だけを目的とする人も利用できるのか。

答　公園利用者の定義や具体的な運用は、今後も国・県と協議する。

問　市は「公園施設として整備することについて国・県に理解いただいている」としているが、参拝客や観光客の利用を含む具体的な運用まで了承を得ているのか。

答　公園利用者の定義については、今後も引き続き関係機関と協議する。

問　公園の駐車不足が年間 20 数日程度という状況で、公園施設として約 800 台を整備する必要性と合理性は。

答　約 800 台は、正月を除く繁忙期にパーク・アンド・バスライドをやめた場合の不足台数から算定した。効果は公園利用者の定義に関わるため、引き続き協議する。

問　国有地の無償貸付条件や、立体駐車場単体では費用が収入を上回る試算を、議会に説明しなかった理由は。

答　法令などに合致させることは当然であるため、貸付条件は説明していない。議会には、交通対策事業全体で収支が成り立つかが重要であるため、全体収支を説明した。



五十鈴公園

一般質問



楠木（くすき） 宏彦（ひろひこ）（日本共産党）

教員の働き方改革を踏まえ 中学校部活動の地域展開の見通しは

動画はこちらから

答　令和 13 年度までには、休日の全ての部活動で実現できる予定である

問　教員の時間外労働時間は減っているのか。
答　令和７年度は月平均 22.2 時間となり、減少傾向にある。
問　月 45 時間を超える教員が令和６年度は 91 人いるが、その状況は。
答　学年初めの準備や部活動の大会、学校行事など、突発的なものである。
問　一部の教員に業務が偏る傾向があるようだが、学校の対策は。
答　校長が面談を行い、業務の見直しを図る。
問　月 80 時間を超えている教員の業務の中身の多くは部活指導であるが、その対応は。
答　複数顧問制や部活動指導員の活用で対応している。



（生成 AI で作成）

○学校教育での保護者の経済的負担軽減について

問　保護者の負担軽減の方策はどうしているか。
答　指定品の自由化や制服などの見直しを必要に応じて行い、安価に購入できるようにしている。また、算数セットなどは学校備品化している学校があり、使用しなくなった学習用具や制服・体操服は寄付していただくこともある。
問　修学旅行への公費負担の考えはないか。
答　研究していきたい。

○五十鈴公園立体駐車場計画について

問　五十鈴公園駐車場建設の目的は何か。
答　公園施設としての位置づけである。公園利用者の定義なども含め、関係機関と協議をしていく。

各種ご案内

議会放映

本会議、予算・決算特別委員会（設置された場合）の内容を、ケーブルテレビの伊勢市行政チャンネルで放映します。会議のあった日の翌日の14時と19時からの２回、また、定例会終了後の翌々日の20時から再放送します。

また、市議会のホームページで、YouTube（ユーチューブ）のサイトを利用した録画配信も行っています。



伊勢市議会動画配信　検索

※視聴の際のデータ通信料はご自身の負担となります。

9月定例会会議録

9月定例会の詳細は、「9月議会の会議録」をご覧ください。

会議録は、議会事務局、各総合支所、伊勢図書館、小俣図書館へ、12月中旬に配架の予定です。

また、市議会ホームページにも掲載します。

12月定例会は

12月7日～12月23日

の予定です。

日程などは、開会１週間前から
ケーブルテレビ文字放送、
市議会ホームページでご案内します。



～カスタマーハラスメントについて～
議員研修会を実施しました

9月1日、「三重県におけるカスタマーハラスメント防止条例の制定に向けた取り組み」をテーマに議員研修会を実施しました。

研修会では県職員から、条例案の概要やこれまでの検討経過などについての説明を受けた後、活発な質疑応答があり、大変有意義な研修会となりました。

市議会では、議員の資質向上を図るため、今後も議員研修会を実施していきます。


研修会の様子

※10月16日、三重県議会において、三重県カスタマーハラスメント防止条例案が可決され、令和9年4月1日に施行されることとなりました。

カスハラとは

法律では、次の3つを全て満たすものが「カスハラ」とされています。

①職場において行われる、顧客、取引の相手方、施設の利用者その他の当該事業主の行う事業に関係を有する者の言動であって、

②その雇用する労働者が従事する業務の性質その他の事情に照らして社会通念上許容される範囲を超えたものにより、

③当該労働者の就業環境を害すること

顧客などからのクレームの中には、過剰な要求を行ったり、商品・サービスに不当な言いがかりをつけたりするものもあります。

そのような不当・悪質なクレームはカスハラに該当する可能性があり、労働者本人に過度なストレスをかけるほか、企業などにも多大な損失を招くことが想定されるため、企業などはこれらから労働者を守る対応をとることが求められます。

カスハラに該当しうる例

業種や業態により態様は異なりますが、厚生労働省の指針では、社会通念上許容される範囲を超えた言動の典型例として、次のような言動が挙げられています。

◉言動の内容が社会通念上許容される範囲を超えるもの

- そもそも要求に理由がない、または商品、サービスなどと全く関係のない要求
- 契約などにより想定しているサービスを著しく超える要求
- 対応が著しく困難または対応が不可能な要求
- 不当な損害賠償要求

◉手段や態様が社会通念上許容される範囲を超えるもの

- 身体的な攻撃（暴行、傷害など）
- 精神的な攻撃（脅迫、中傷、名誉毀損、侮辱、暴言、土下座の強要など）
- 威圧的な言動
- 継続的、執拗な言動
- 拘束的な言動（不退去、居座り、監禁）


出典：政府広報オンライン「カスハラとは？法改正により義務化されるカスハラ対策の内容やカスハラ加害者とならないためのポイントをご紹介」

議会日誌

8月
3日　議会運営委員会
　　政策等検討分科会
28日　議会ICT検討分科会
31日　産業建設委員会
　　同協議会

9月
1日　教育民生委員会
　　同協議会
　　議員研修会
2日　総務政策委員会
　　同協議会
7日　議会運営委員会
　　同協議会
14日　広報広聴検討分科会
24日　議会のあり方調査特別委員会（全体会）

10月
7日　産業建設委員協議会
8日　教育民生委員協議会
9日　総務政策委員協議会
13日　各派代表者会議
15日　広報広聴検討分科会

表紙の題字は

市内小学校５年生の方々に応募いただいた作品の中から、今回は福井さんの「いせ」を採用しました。



伊勢の好きなところ

伊勢神宮の歴史やお木曳の伝統が大好きです。
みんなで伝統を守る姿が伊勢のすてきなところだと思います。

修道小学校５年　福井（ふくい）　華乃（かの）

議会を傍聴しよう



伊勢市議会では、定例会を年４回（３月・６月・９月・12月）、また、必要に応じて臨時会を開催しています。

本会議では、議員が市民生活に身近な議案の審議や、市の事業・諸課題・将来の方針などの市政全般についての一般質問などを行っています。

どなたでも傍聴できますので、議会事務局または市議会のホームページで日程をご確認のうえ、お越しください。

常任委員会や特別委員会の会議も傍聴できます。


傍聴席




車椅子席

市議会ホームページ
（市議会の傍聴）


傍聴席から見た議場


本会議の様子

～会議の録画放送・配信～

ケーブルテレビの伊勢市行政チャンネルで録画放送（本会議、予算・決算特別委員会）を、また、YouTube（ユーチューブ）のサイトを利用した録画配信も行っています。※詳しくは 14 ページをご覧ください。



問い合わせ先

伊勢市議会事務局（本館３階）
〒 516-8601
伊勢市岩渕１丁目７番 29 号
☎　0596-21-5630
FAX　0596-21-5631
✉　gikai@city.ise.mie.jp

編　集

議会のあり方調査特別委員会

会　長	久保　真
委　員	大野　寛文
	森下　知世
	池田　覚

広報広聴検討分科会

副会長	谷口　久美
	小阪　史章
	宮本　晃
	品川　幸久

■印刷　株式会社アイブレーン
■「いせ市議会だより」は、再生紙を使用しています。

VEGETABLE OIL INK
植物油インキで印刷しています。

「いせ市議会だより」をリサイクルする際は、雑誌・雑がみ類として分別してください。

UD FONT by MORISAWA
見やすいデザインの文字を使用しています。